

事業所名

大網白里市きりん幼児教室（児童発達支援事業所）

事業所理念

日常生活の基本動作や、集団生活への適応訓練、機能回復訓練などを行い、健やかに成長することができるような手助けを行います。また、保護者の方が子育てに不安や心配を感じる場合の相談や指導などの支援を行います。

支援方針

- ・ 人格形成の基礎である親子の信頼関係を深め、情緒の安定を図り、心身機能の回復及び向上を目指します。
- ・ 社会生活に適応する力を養います。
- ・ 保護者を支え、子育てが順調に行えるようサポートします。

開室時間

月曜日～金曜日 9：00～16：00（電話相談時間）

通常指導時間 9：30～13：30

送迎実施の有無

送迎無し

本人支援

児童発達支援ガイドラインの【5領域】をもとに心身の総合的な発達を促すため、指導内容を「情緒」「運動」「言語」「造形」の4区分にまとめ、日々の活動の中に遊びという形で取り入れ、楽しく自然に身につくようにします。

また、社会適応力を養うために、「排泄」「衣服の着脱」「食事」などの生活習慣の自立を援助します。

【5領域】とは

- 「健康・生活」・・・食事、衣服の着脱、排泄など健康な生活の基本となる生活スキルの獲得
- 「運動・感覚」・・・動作の基本となる姿勢保持や運動の向上 感覚の特性への支援
- 「認知・行動」・・・空間・時間、数等の概念形成の習得 認知の偏りへの対応
- 「言語・コミュニケーション」・・・言語の形成と活用 言語を受容し表出する支援
コミュニケーションの基礎的能力の向上
- 「人間関係・社会性」・・・他者との関わりの形成 仲間づくりと集団への参加
自己の理解とコントロールのための支援

【4区分の指導内容】

情緒	人への愛着と信頼関係、自尊心、落ち着き、意欲、注意力、心の柔軟性、適応力など、主に発達の土台となる心を育てるプログラム (例：親子遊び・抱っこ遊び・おんぶでおいかけっこ・ハンモック・飛んでけ)
運動	からだ全体を使った大きな動きを取り入れることで、運動発達を促し、体力向上を目指す。また、筋肉の過緊張や低緊張の緩和を図るプログラム (例：リトミック・サーキット・散歩・体のマッサージ・でんぐり返し・手押し車)
言語	口腔周辺機能の回復と向上、ことばを聴く耳を育てる、生活にかかわる物事の認知を促すなど、主にことばにかかわる発達と認知力を育てるプログラム (例：ピンポン玉ふき・絵カード・ごっこ遊び・かるたとり・読み聞かせ・パズル)
造形	手、指などの細かい運動機能を向上させ、手と目の供応を高める。また、視覚的な認知力を育てるプログラム (例：工作・お絵描き・はさみ・のり・小麦粉粘土・ひも通し・新聞紙遊び)

1日10人までのグループに分けて個々の発達を促す療育を行います。

【一日の流れ（療育内容）】 各活動の内容には複数の5領域が含まれていますが、主な領域を示しています。

時間	活動	内容	関連する5領域
9時30分	登園	朝の支度 個別プログラム 自由遊び	【運動・感覚】【認知・行動】 【人間関係・社会性】
10時10分	おはようの会	お返事 歌 手遊び リトミック 絵本など	【運動・感覚】【認知・行動】 【言語・コミュニケーション】
10時30分	トイレ	トイレトレーニング (お子さんの状況に合わせて)	【健康・生活】【運動・感覚】
11時00分	療育プログラム	集団療育のなかで個々の発達を 促すプログラム	複数の5領域を含む 4区分の指導内容プログラム
12時00分	お弁当	咀嚼 偏食指導 フォークや箸の練習 (お子さんの状況に合わせて)	【健康・生活】【運動・感覚】
13時00分	療育プログラム	集団療育のなかで個々の発達を 促すプログラム	複数の5領域を含む 4区分の指導内容プログラム
13時25分	さよならの会	絵本読み聞かせ 歌	【言語・コミュニケーション】 【人間関係・社会性】
13時30分	降園	着替え 帰りの支度	【健康・生活】【運動・感覚】 【人間関係・社会性】

家族支援

年に2～3回 保護者懇談会

年長児の就学を前に卒園児保護者との懇談会を設け、就学後のイメージを持てるよう支援

移行支援

就園を見据えた基本的な生活習慣などの獲得や準備

就学に向けた取り組み（年長児プログラム・就学相談会・特別教育支援ネット会議）

地域支援

相談支援事業所や他事業所、幼稚園や保育所との連携

特別支援学校の学校公開申込み

自立支援協議会への参加

職員の質の向上

虐待研修、感染症研修、その他外部研修

主な行事等

園外散歩、水遊び、保護者懇談会、OB会、就学相談会、避難訓練

季節の制作（こいのぼり・七夕・クリスマス・おひなさま）

毎月の誕生日会、年度末の頑張ったね会